

日本シニア起業支援機構は、実務経験豊富な産・学・官のシニアがメンターとして、その知恵と経験と人脈を最大限に活かして、「技術開発、起業・スタートアップや新事業立上・事業再構築、および地域創生の早期成功発展」に務め、広く社会に貢献することを目的に、設立された組織です。



J-scoreの音声案内



一般社団法人 日本シニア起業支援機構 目的

日本の人口構成の約半分を占めるシニア層が、年齢に制限無く生涯現役として活躍することで

- 企業の設立や新規事業の立上が容易になり、起業家が増え、日本経済が発展する
- シニア自身が生涯現役として、生き甲斐を持った人生を送れる

一般社団法人 日本シニア起業支援機構 支援内容

- 経営改善支援、とくに起業前後の立ち上り支援
- 新企画商品の研究開発、生産技術の研究・開発、販売促進の支援
- 技術・ビジネスの広報・PR等
- 人材育成・教育・講習・セミナー等
- コンサルタントおよびボランティア指導者(ビジネスメンター)の養成と資格認定
- 技術の調査および診断・評価
- ビジネスにかかわる市場調査、テストマーケティング
- 各種補助金、助成金獲得取得支援、管理業務事務受託
- 起業支援、起業家支援にかかわる人材紹介、斡旋
- 前項にかかわるコンサルタント、および一切の事業

未来農林事業開発研究会

総合的リスクマネジメント (TRM) 研究会

A・I・R ネットポータル

AI / IoT / Robot マネジメントサービス

支援依頼

支援を必要とされる方への様々なサポート

アクセス図



R東京駅八重洲北口 徒歩5分
東京メトロ銀座線 日本橋駅B3出口 徒歩3分
東京メトロ東西線 日本橋駅A3出口 徒歩3分
都営浅草線 日本橋駅B3出口

JR東京駅八重洲北口の改札口から徒歩5分。JR東京駅八重洲北口の改札口から70m直進し、エスカレーターで地下1階へ降りて、八重洲地下街の通路をそのまま100m直進（日本橋・八重洲方向）し、突当りのビル入り口が八重洲口会館の地下1階です。階段で下に降り、地下2階の通路を進み、右折して右側にあります。

一般社団法人日本シニア起業支援機構
〒103-0028

東京都中央区八重洲一丁目7番20号
八重洲口会館 B2F

メール office@j-score.or.jp

電話 03-6423-1140

FAX 03-6423-1141

URL <https://j-score.or.jp>



一般社団法人日本シニア起業支援機構（J-SCORE）の概要

目的と役割

日本シニア起業支援機構は、実務経験豊富な産・学・官のシニアがメンターとして、その知恵と経験と人脈を最大限に活かして、「技術開発、起業・スタートアップや新事業立上・事業再構築、および地域創生の早期成功発展」に務め、広く社会に貢献することを目的に、設立された組織です。そのために、当機構はオープンイノベーションを標榜する各種研究会を開催し、人材・技術・営業の相互交流をボランティアまたはコンサルタントとして図ることにより、新産業を創出・発展させるコミュニティの機能を果たします。

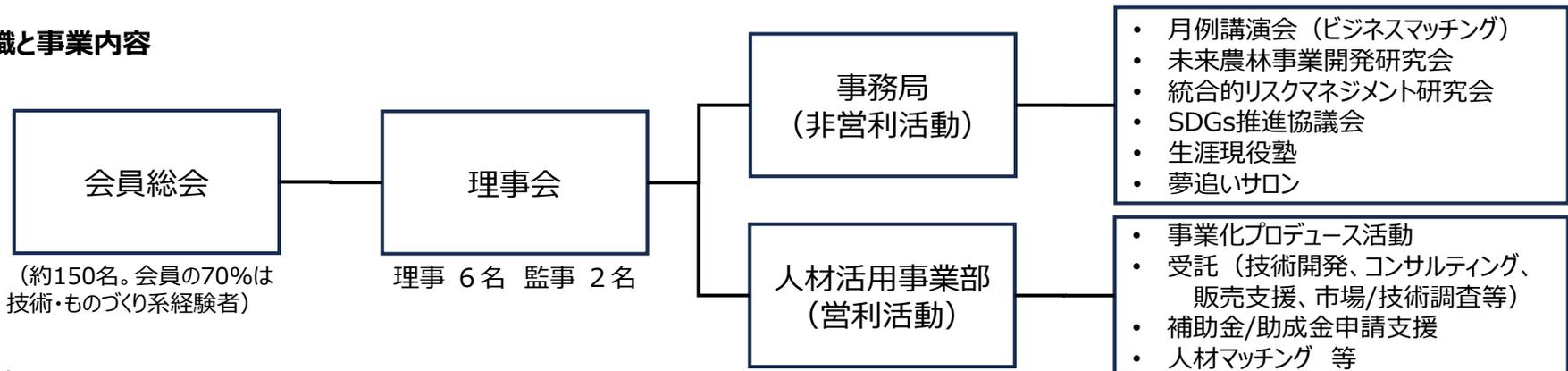
当機構は、前身の（社）日本工業技術振興協会（JTTAS）の解散に伴い、志を共有する有志の協力を得て、2015年10月に設立されました。

英文名称は、J-SCORE（The Japan Service Corps of Retired Executives）です。この英文表示にも、我々のコンセプトが含まれています。SCOREとは、米国の民間非営利団体で、50年以上にわたり純粋なボランティア精神に基づいて、48州約380以上の地域社会で活動を続けている、第一線を退いた経営者、企業OB（Retired Executive）が「生涯現役」をモットーに、それまでの経験を活かして「起業家（ベンチャー）」を支援することを目的とした組織・団体で、全米に約12,000人のMentor Business Counselorが活躍しています。

日本では、私たち有志が10年来その必要性を説き、仲間を増やす活動を続けてまいりました。バブル崩壊後30余年、日本経済は低迷からの脱却ができない中、少子高齢化が急速に進んでおります。現在、起業家を5%前後の推移から10%に引き上げる施策が遂行されていますが、これは現状よりも毎年10万件の起業家の増加を意味します。日本経済の着実な再生発展のためには、起業させることが第一義の目的ではなく、起業家を発展軌道に乗るように育成することが目的となるべきと考えます。

そのためには、ビジネスメンター（起業の成功を起業家本人以上の熱意をもって取り組む）が数万人規模で必要となります。そこで、これまでの日本になかった「米国のSCORE」活動に準じた「日本版SCORE」、即ち「J-SCORE」の設立が急務と考え、当機構を設立した次第です。

組織と事業内容

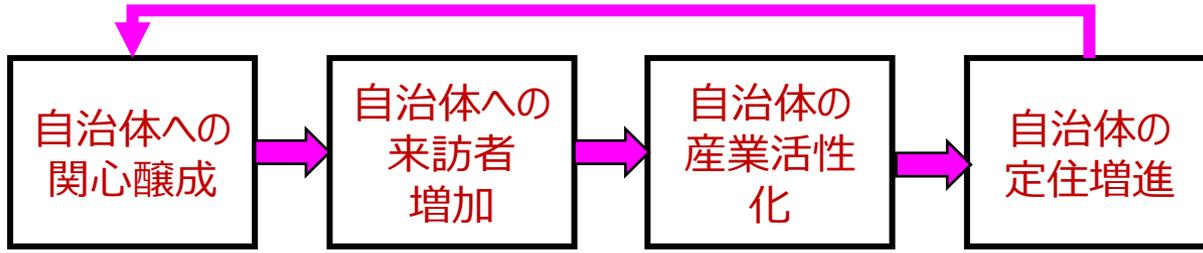


特徴

- 非営利活動（ボランティア）と営利活動（コンサルタント）を両立させます。
- 起業家や中小企業を経営/技術/営業の多方面から支援し、日本経済の再生と持続的な発展に役立ちます。
- シニア（45歳以上）が生涯現役として生甲斐を持って活躍する場を提供します。
- 産学官連携を計ることで、日本の産業の難題解決を可能とします。
- 事業企画・開発から事業開始・成功まで一貫して伴走支援します。

陸上養殖を核にした地域再生のご提案

地域活性化サイクル



「地域活性化サイクル」に基づいて自治体の現状を改善するグランドデザインを作成し、それに基づき自治体での個々のプロジェクトの実施を伴走支援します。

【社団J-SCOREの提案の強味】

- ✓ 会員が事業化または指導して実績あるITを活用した技術やサービスを組み合わせた実現性が高い構想提案です ⇒ 実績のある陸上養殖（とらふぐ、ひらめ等）を最初に提案します。
- ✓ この構想提案を活かした自治体内の起業家や企業・団体等の新事業立上を伴走型で長期間支援できます。



【社団J-SCOREは関連事業も支援】

- 海外輸出（費用ゼロの輸出支援）
- 地元旅館/ホテルへの商流/物流サポート
- ホームページ等のサイト作成
- ブランド戦略/商標/デザイン立案
- 名産品化とふるさと納税返礼品化

富山新聞の報道（2024年7月13日土曜）

氷見市に移住呼び掛け提案

ひとり親家庭の子育て地域に

日本シニア起業支援機構（J-SCORE）は2日、氷見市の強みを生かした地域再生策として、ひとり親家庭の子育てのハードルを下げ、全国から移住呼び掛けることを提案し、空き家を活用した仕事シテハウスや、費用ゼロの輸出支援と新事業のアイデアを提起し、前提条件となるシタル環境の整備を求めた。

機構は産学官出身のシニアが起業家支援するため、2015年10月に設立され、現在150人が在籍する。氷見市出身の実業家山森一男さんが創設した山森記念財団の仲介で、松井武久代表理事らが市役所を訪れた。

提案では、市が日本一を目指している子育て支援策を強化し、移住呼び掛けに空き家を活用した仕事シテハウスで、住居を提供し、シニアの経験を生かした業務的な支援や移住後のサポートを行うとしている。藤田市長は活用し新事業の創出を図る。山森記念財団の人材育成事業など活用する。市は「子育て支援センター」を開設し、海外富裕層向けの医療観光施設の仲介で、松井武久代表理事らが市役所を訪れた。

山森一男さんは「ひとり親家庭の子育て支援策を強化し、移住呼び掛けに空き家を活用した仕事シテハウスで、住居を提供し、シニアの経験を生かした業務的な支援や移住後のサポートを行うとしている」と述べた。市は「子育て支援センター」を開設し、海外富裕層向けの医療観光施設の仲介で、松井武久代表理事らが市役所を訪れた。

市役所

空き家活用、シェアハウスに

氷見市に提案する日本シニア起業支援機構のメンバー

なぜ陸上養殖なのか？（水産庁HPより抜粋、一部改変）

【海面生け簀養殖との比較】

◇メリット

- 1) 飼育環境の人為管理により生産性が向上する
- 2) 魚種の制約を受けない
- 3) トレーサビリティへの対応が容易
- 4) 環境負荷の軽減
- 5) 区画漁業権等の漁業法の制約がない
- 6) 作業量の軽減

◆デメリット

- 1) 施設整備のイニシャルコスト、電気使用量等のランニングコストが高額
- 2) 複数の機材を使用するため故障等のリスクが相対的に高い
- 3) ウィルスや魚病等が持ち込まれた場合や停電等のトラブルが発生すると被害が大きくなる可能性がある

トラフク陸上養殖における生産コストの試算

施設	1,050円	15年償却	70円/年
餌	474円	14.4%	
種苗	211円	6.4%	
飼料水	32円	1.0%	
人件費	212円	6.5%	
電気（温調）	436円	13.3%	
電気（動力）	854円	26.0%	
生産コスト	3,278円/kg		